

シェアハウス用戸建賃貸住宅開発へ

ポータルズ・ジャパンと業務提携

戸建て賃貸住宅「ポータルズ・アセット」を販売しているランデックス（東京都中央区 工藤鉄太郎社長）では、ポータルズ・ジャパン（東京都文京区 田口一成社長）と、5月16日に業務提携を締結した。



ポータルズの「ポータルズ・アセット」

今回の提携は、「シェアハウス用戸建賃貸住宅の共同開発」をメインテーマとしているもの。ポータルズ・ジャパンが首都圏を中心に展開するシェアハウス事業で培ったノウハウと、ランデックスが戸建賃貸事業で培ったノウハウを結集することとで、戸建賃貸オーナーに対して「シェアハウス用戸建賃貸住宅」という新たな商品を提案していく計画だ。

今回の提携は、シェアハウスに全面協力をする共同開発で、既存アパートの空室や値下げに苦しむオーナーに対して共同入居と賃貸の改修を目指す賃貸専門会社「ポータルズ・ジャパン」等の幅広いノウハウを取り組んでいきたいという。

ランデックスは、土地活用が難しく狭小地や老朽化や空室の多いアパート等に対して、様々なタイプの戸建賃貸住宅を提案。昨年からFIC事業を本格展開、今後は

空室エリアである近畿圏を中心に積極的に加盟店を募集していきたいという。

ポータルズ・アセットは、これを機にポータルズ・ジャパンが企画するシェアハウスのリノベーション

を募集していきたいという。